

◆(淵上陽一君) 夢4カ年戦略も残すところ3年となりましたが、ただいま知事が御答弁いただいた目標が獲得できますよう、心から期待をしたいと思います。

なお、阿蘇につきましては、ビッグニュースが届きました。それは、来週フランスで発売される世界で最も権威ある旅行ガイド、ミシュラン・グリーンガイド・日本編の中で、阿蘇が3段階評価の二つ星を獲得したことです。これは、全国で22カ所、九州では長崎と並んで2カ所だけの栄誉であり、必ずや今後の運動の追い風となることに違いありません。

したがって、唯一の熊本県単独案件である阿蘇につきましては、特段の御尽力をお願いいたします。この質問を終わらせていただきます。

次に、さきの質問を伏線として、また、昨年に引き続きまして、菊池川流域の活性化に向けての観光振興策についてお尋ねいたします。

待望久しい九州新幹線の全線開業が平成23年春に迫っております。県では、この年を新幹線元年と位置づけて、新幹線効果を最大化するために、開業を発射台として、第1に、県民総参加での地域づくり、第2に、熊本の知名度アップ、第3に、リピーター的な旅行客の確保を3本柱にして、各地の地域づくりとイベントの実施などに県民が総参加で取り組む姿勢を見せておられますが、私は、この中に鞠智城の国営公園化の早期実現を加えることが必要であるとの認識を持っております。

国営公園の冠を抱くことで、県外からの修学旅行の誘致が図れます。激動の7世紀後半の古代日本を学習する場として格好の史跡であります。さらに、旅行会社とタイアップした一般の観光客の誘致にも大きな弾みとなります。これは、まさに今県が目標に掲げている地域づくりの核となるものであります。

県北地域では、新幹線の新玉名駅建設に伴う玉名市街地の再開発、さらに、山鹿市街地の再開発の計画があります。地域全体の共通の認識は、アピールの核となる超目玉がないということであります。

ところで、熊本市内には、本丸御殿が完成した熊本城、県南では、国宝となった人吉の青井阿蘇神社が、観光の拠点としてまさに売り出し中であります。

一方、県北における拠点をつくる意味から、早急な鞠智城の国営公園化が大きくクローズアップをされているのであり、真の意味での地域づくりの核と地域活性化の源は、鞠智城の国営公園化にあると確信しています。

では、県の鞠智城国営公園化に向けた取り組みは、いかがなものでしょうか。

潮谷前知事が、平成19年の年頭記者会見で、県の重要政策として国営公園化構想を発表されて2年余りの歳月が流れました。

この間、昨年4月からは、蒲島知事による新たな県政のかじ取りが始まりました。知事は、鞠智城の国営公園化もマニフェストに掲げておられます。

昨年の秋に、奈良県の平城宮跡が国営公園の分園として整備されることが閣議決定されました。先に手を挙げた熊本県として、悔しい思いであります。一昨年の春に就任された荒井正吾奈良県知事の取り組みからは多くの学ぶことがあります。

奈良県には、平成5年ごろから執行部に構想がありました。しかし、歴代の知事は余り関心を示さず、全く進展していませんでした。ところが、県知事選挙で、元運輸省観光部長で参議院議員を歴任した荒井氏が、平城宮跡の国営公園化構想をマニフェストに掲げ、積極的な活動を展開されたことで、当選後、一気に事態が進展しました。

荒井知事は、当選の翌日から市町村へのあいさつを抜きに上京して、県選出の国会議員や国土交通省及び関係省庁へ出向き、早々の要望をされました。8月末日までの4カ月間の知事の要望は8回にも及びました。奈良県職員の言葉をかりれば、ポスターも間に合わないほどの素早い行動であったそうです。

一方、鞠智城の国営公園化について、国土交通省から国指定特別史跡を取るべきとの条件が付されていますが、これにつきましては、既に国営公園となっている佐賀県の吉野ヶ里遺跡の有名な話があります。

佐賀県では、県出身で当時の保利耕輔文部大臣を中心に、国営公園指定に向けて、当時の建設省へ猛烈な運動を展開すると同時に、特別史跡指定獲得のために、文化庁に対しても、当時の文化庁主任調査官が、それはすさまじい波状攻撃で恐れ入ったと回想するほどの働きかけを行ったのであります。

熊本県も、これくらいのはまりが必要で。蒲島知事は、地元の山鹿の遺跡であり、多少遠慮があるかと思われませんが、鞠智城の国営公園化は、決して山鹿のみ、あるいは菊池川流域だけの問題ではなく、熊本全体の観光戦略の根本問題であると申し上げます。

もちろん、鞠智城の所在する山鹿市にとりましては、平成23年の新幹線全線開業前に、ぜひとも国営公園化のめどをつけたい所存であります。私は、この課題こそが、くまもとの夢4カ年戦略の最もふさわしい課題であると確信します。

さて、昨年10月23日、鞠智城において、百済青銅製菩薩立像の大発見がありました。そこで、教育長には、本仏像の権威者による鑑定評価と特別史跡指定獲得への教育委員会としての取り組みをお尋ねいたします。

そして、蒲島知事には、国営公園化に向けて、今後どのような具体的行動をとられるつもりか、お考えをお尋ねいたします。

〔教育長山本隆生君登壇〕